

地面から “鉄筋の棒”が出ていた

転倒の中学生、15針縫うケガ

鉄筋の棒は、工事の際に地中に埋められ
施工業者が抜き忘れたと考えられる

2021/6/10(木) 17:20

2日、東京都の公園で遊んでいた中学生が転倒し、地面から出ていた鉄筋の棒にあたり、膝下を15針を縫うケガをする事故がありました。

鉄筋の棒は、園道を舗装する工事の際に地中に埋められ、施工業者が抜き忘れたと考えられるもので、これが地面に露出して事故につながったということです。

公園では定期的に清掃や点検が行われていましたが、この棒には気付かなかったということです。

事故を受け区が園道を調査したところ、地中から、ほかに3本の鉄筋の棒と鉄製の杭が1本見つかったということです。

区は今後、金属探知機を使用し、この公園全域を調査するほか、近年工事を行った区内の公園、およそ60か所についても調査を行い、再発防止に努めたいとしています。